

科目名	放射線腫瘍学(*1)			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 古井 滋 教授 鈴木崇彦 教授 大谷浩樹 准教授 太田 樹					授業方法	講義
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	配当コース	医学物理士コース
授業の概要	腫瘍についての基礎的な理解をもとに、各組織の腫瘍について学ぶ。さらに各腫瘍についての放射線治療について学ぶ。						
授業の到達目標	各腫瘍に関する知識と放射線治療の適応について学び、各腫瘍における適切な照射について説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	古井 滋	教授	放射線治療の特色と基本構造、治療施設の基準構造、QAの在り方、有害事象について説明できる。			
	2	大谷 浩樹	教授	放射線治療計画、小線源治療、原体照射法、強度変調放射線治療、術中照射について説明できる。			
	3	大谷 浩樹	教授	定位手術的照射、体幹部定位放射線治療、画像誘導放射線治療、呼吸性移動に対する対処について説明できる。			
	4	大谷 浩樹	教授	全身照射、全皮膚照射、全頭蓋照射、陽子線・重粒子線治療、中性子補足療法、内用療法について説明できる。			
	5	鈴木 崇彦	教授	原発性脳腫瘍、転移性脳腫瘍、脊髄腫瘍について説明できる。			
	6	太田 樹	准教授	口腔癌、咽頭癌、喉頭癌について説明できる。			
	7	太田 樹	准教授	呼吸器における非小細胞肺癌、小細胞肺癌について説明できる。			
	8	大谷 浩樹	教授	早期乳癌に対する温存乳房照射、進行乳癌について説明できる。			
	9	大谷 浩樹	教授	消化器における食道癌、肝臓癌、局所進行癌について説明できる。			
	10	大谷 浩樹	教授	消化器における直腸癌、肛門癌について説明できる。			
	11	太田 樹	准教授	泌尿器における前立腺癌外部照射、前立腺癌小線源治療、膀胱癌について説明できる。			
	12	太田 樹	准教授	婦人科における子宮頸癌、子宮体癌について説明できる。			
	13	太田 樹	准教授	骨軟部における原発性骨腫瘍、転移性骨腫瘍、軟部組織腫瘍について説明できる。			
	14	太田 樹	准教授	造血器における悪性リンパ腫、骨髄腫、白血病について説明できる。			
	15	太田 樹	准教授	小児における神経芽細胞腫、ウイルス腫瘍について説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	Radiation Oncology Physics (IAEA 2005)						
参考書							
評価方法	レポート50%、授業内課題50%						
その他履修上の注意事項	(*1)2018年度以降入学生のみ履修可 試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						